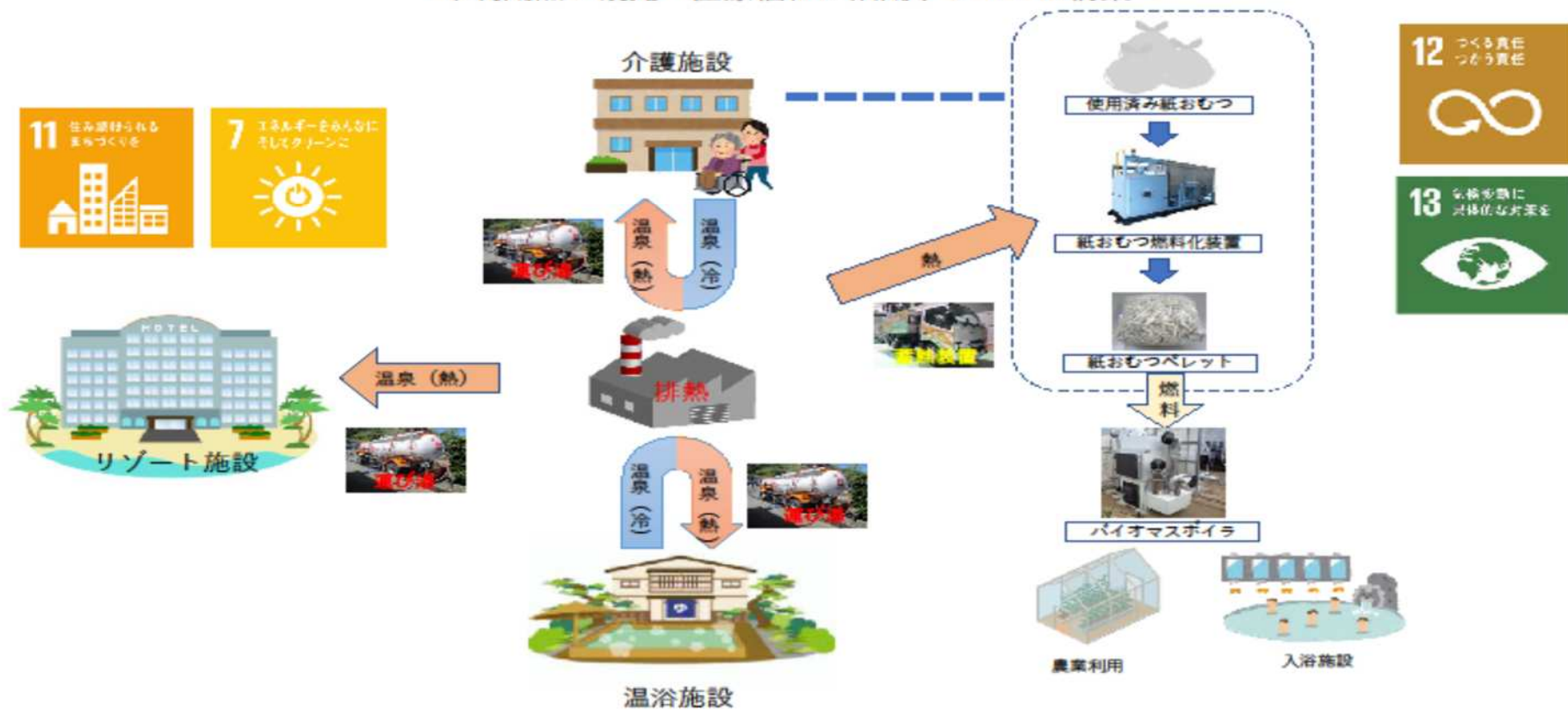


団体名	特定非営利活動法人循環型社会創造ネットワーク
所在地	青森県八戸市柏崎2丁目7-14
団体の目的	市民、行政、高等教育機関及び地域企業等と連携し、温室効果ガス削減のためのエネルギー消費効率の改善、低炭素エネルギー源の導入及び環境・エネルギー教育等への支援を行い、これらを通して地域の自主的かつ継続的な低炭素化活動を推進することで、持続的発展可能な循環型社会の形成に寄与するとともに、環境問題とエネルギー政策に貢献をすることを目的とする。
活動地域	青森県
地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿	・鉄鋼業・非鉄金属等の産業で排出される未利用熱の活用。未利用熱を鉄鋼業・非鉄金属等の自社工場内で活用。未利用熱を場外にも搬送して医療・福祉施設、温浴施設や他工場の熱源として乾燥、除湿、加温に使用する。 ・災害に伴う停電時でも再生可能エネルギーとEV等を活用して移動式避難所兼病院で医療を提供する。
地域の現状・課題	八戸市の産業は、製造業の割合が高く、エネルギー多消費業種が集中している。これらの業種は、熱を多く排出し、CO2の排出量も多い。八戸地域の産業を維持・発展するためには、SDGsを取入れ、各産業間で連携し地域資源を活用する形態に変革する必要がある。
地域が持つ資源	・未利用熱（鉄鋼・非鉄金属・セメント製造時廃熱） ・再生可能エネルギー（太陽光発電） ・市内にある電気自動車、プラグインハイブリッド車（新車中古車含む）
取組内容	未利用熱による工場等のCO2排出量を削減する。また、当該地域温泉の温度は低いため、工場の未利用熱を活用して、温浴施設や福祉施設、国立公園内の宿舎で活用し、より低炭素で楽しい社会を創出する。
地域循環共生圏を実践することで想定される効果	（環境）未利用熱を活用することで化石燃料の使用量削減となりCO2の排出を削減 （経済）燃料費の削減が可能となるとともに、域外に出ていた資金を域内で循環することによる経済効果 （社会）災害時の医療・福祉事業継続、平時には新しい医療・福祉のツーリズム等に活用することによる入所者の生活の質向上

八戸地域ヒートループ事業
 ～未利用熱を観光・医療福祉に活用するモデル構築～



特定非営利活動法人循環型社会創造ネットワーク

事業イメージ